

ポリ塩化ビフェニル廃棄物等の保管及び処分状況等届出書（保管事業者及び所有事業者用）

・前年度から新たに保管することになった **PCB 廃棄物** を届け出る場合は、先頭へ「前年度の元号数-」を加え、1から順に整理番号を付してください。  
 (例) 06-001

・機器の銘板等を確認し、記入してください。  
 ・不明の場合は「不明」と記入してください。  
 ・表示記入等では銘板に油量の記載があれば記入してください。  
 (参考) 記入要領 P4~6

・台数及び総重量は、単位も記入してください。  
 ・小型のものを容器にまとめて保管等している場合で台数を把握することができない場合は、容器の数（缶数等）を記入してください。  
 ・台数や容器の数に加えて概算でもよいので可能な限り「総重量」も記入してください。(参考) 記入要領 P6(6)

・前年度までに届出している場合は、引き続き前年度の届出と同じ番号を記入してください。

・保管事業場内で複数の住所がある場合記入してください。

・「高濃度」「低濃度」「不明」のうち該当するものを記入してください。  
 ・低濃度に該当する可能性があってPCB濃度が未測定の場合は、「低濃度」を選択してください。  
 ・高濃度PCBの使用が否定できず濃度不明の場合は、「不明」と選択してください。(参考) 記入要領 P7(7)

主な処理の推進に関する特別措置法第8条第1項の規定に基づき、前年度のポリ塩化ビフェニル廃棄物等の保管及び処分の状況

1. ポリ塩化ビフェニル廃棄物について

保管事業場の名称	〇〇〇工業株式会社	△△△事業所
保管事業場の所在地	〇〇県〇〇市〇〇番〇〇号	
特別管理産業廃棄物管理責任者の職名及び氏名	〇〇部▽▽課	〇〇係 〇〇 〇〇
保管の場所	①〇〇市〇〇番〇〇号	②〇〇市〇〇番□□号

・容器の性状には、PCB 廃棄物を保管している容器について、記入要領 P8 の<容器>から選択して記入してください。

・処分業者と委託契約締結済みであれば、その旨と契約締結の年月を記入してください。  
 ・中間貯蔵・環境安全事業株式会社に登録している場合は、登録番号も記入してください。(参考) 記入要領 P8(8)

①前年度の3月31日に保管していたポリ塩化ビフェニル廃棄物

番号	廃棄物の種類	廃棄物の型式等					処分予定年月	量		濃度区分	保管の状況				処分業者との調整状況	参考事項
		定格容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等		台数又は容器の数	総重量 (1台当たり重量×台数)		容器の性状	囲い等の有無	分別・混在の別	漏れ等のおそれ		
2-003	①変圧器 (トランス)	75kVA	⑥三菱電機 (株)	SF-T	S57.1	730	R7.9	1台	295.0 kg	低濃度	なし	囲い有、掲示有	分別	なし	調整中	2.6mg/kg 島津
5-001	⑦コンデンサ (3kg以上)	50kVA	⑩日本コンデンサ工業	NEF-6505OR	S50.1	不明		1台	31.0	低濃度	なし	囲い有、掲示有	分別	なし	未定	濃度不明

・記入要領 P3~4 の<種類>から選択して記入してください。

・処分を予定している年月 (委託予定年月又は保管事業者として処分を想定している年月) 記入してください。(参考) 記入要領 P6 (5)

・低濃度PCB廃棄物の場合は、参考事項に分析結果「△mg/lg」と分析機関名を記入していただくか、分析結果の写しを添付してください。PCB濃度が未測定の場合は、「濃度不明」、濃度未測定でも低濃度PCB廃棄物として処分する場合は「みなし低濃度」を記入してください。  
 ・容器の容量や寸法を記載してください。(例:「ドラム缶 (220ℓ)」、「250 x 300 x 400 mm」)  
 ・その他保管の状況等を把握する上で参考となる事項を記入してください。

②前年度中に新たに保管することとなったポリ塩化ビフェニル廃棄物

・「他の事業場から移動」「譲受け」「承継」のいずれかを記入してください。

番号	廃棄物の種類	廃棄物の型式等					量		濃度区分	保管開始年月日	保管開始理由	参考事項
		定格容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等	台数又は容器の数	総重量 (1台あたり重量×台数)				
6-010	①変圧器 (トランス)	75kVA	②富士電機製造 (株) (現: 富士)	FH75T5-75S	S54.1	A-695 1250	1 台	460.0 Kg	低濃度	R6.5.15	他の事業場から移動	濃度不明 R7.7

③前年度中に他の事業場又は他の事業者の事業場において保管することとなったポリ塩化ビフェニル廃棄物

「他の事業場に移動」「譲渡し」「承継」のいずれかを記入してください。

番号	廃棄物の種類	廃棄物の型式等					量		濃度区分	保管終了年月日	保管終了理由	移動先の保管の場所並びに事業者又は事業場の名称及び所在地	参考事項
		定格容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等	台数又は容器の数	総重量 (1台あたり重量×台数)					
2-011	⑦コンデンサー (3kg以上)	100 W	②東京芝浦電機 (株)	BRTR-A6 J2R	S58.1		1 台	30.0 kg	低濃度	R6.12.20	他の事業場に移動	〇〇県〇〇市〇〇 〇〇 〇〇県〇〇市〇〇	21mg/kg 島津

④前年度中に自ら処分し、又は処分を委託したポリ塩化ビフェニル廃棄物

PCB 廃棄物の処分が終了している場合は、処分した日を記入してください。また、産業廃棄物管理票 (D票又はE票) の写しを添付してください。処分年月日は、最終処分終了年月日 (D票までの場合は処分終了年月日) を記入してください。

番号	廃棄物の種類	廃棄物の型式等					量		濃度区分	自ら処分した場合		処分を委託した場合			参考事項
		定格容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等	台数又は容器の数	総重量 (1台あたり重量×台数)		処分年月日	処分後の廃棄物の種類及び処分先	処分委託年月日	処分受託者の名称	処分年月日	
3-003	⑳開閉器	100 VA	③(株) 戸上電機製作所	ST-A	S48.7		1 台	43.0 kg	低濃度			R6.6.10	〇〇株式会社	R6.7.25	25mg/kg ユーロフィン

2. ポリ塩化ビフェニル使用製品について

所在事業場の名称	〇〇工業株式会社 △△△事業所				
所在事業場の所在地	〇〇県〇〇市〇〇番〇〇号				
ポリ塩化ビフェニル使用製品に係る事業の管理責任者の職名及び氏名	〇〇部▽▽課 〇〇 〇〇			電話番号	〇〇〇-×××-□□□□
所在の場所	事業場の所在地と同じ				

**PCB 使用製品の使用を止め、廃棄することを予定している年月を記入してください。**

電気工作物ではない高濃度の PCB 使用製品は、届出が必要です。(例：PCB 使用安定器等)

①前年度の3月31日に使用していたポリ塩化ビフェニル使用製品(高濃度ポリ塩化ビフェニル使用電気工作物を除く。)

番号	製品の種類	製品の型式等					廃棄の見込み		量		濃度区分	参考事項
		定格容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等	廃棄予定年月	処分業者との調整状況	台数又は個数	総重量 (1台当たり重量×台数)		
6-013	①変圧器(トランス)	150 W	⑥三菱電機(株)	RA-T	S55.1	1300	R8.1	未定	1台	525.0 kg	低濃度	濃度不明 R7.7

「他の事業場から移動」「譲受け」「承継」のいずれかを記入してください。

②前年度中に新たに所有することとなった高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品(高濃度ポリ塩化ビフェニル使用電気工作物を除く。以下同じ。)

番号	製品の種類	製品の型式等					量		所有開始年月日	所有開始場所	所有開始理由	参考事項
		定格容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等	台数又は容器の数	総重量 (1台当たり重量×台数)				
30-002	蛍光灯用安定器	50 W	新日本電機(株)	FRB-22SR	不明	不明	300台	750.0 kg	H30.11.1	事業場事務室	承継	H30.08.10 〇〇株式会社との合併による

会社との合併等、その他保管の状況等を把握する上で参考となる事項を記入してください。

③前年度中に他の事業場又は他の事業者の事業場において所有することとなった高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品

番号	製品の種類	製品の型式等					量		所有終了年月日	所有終了理由	移動先の所在の場所並びに事業者又は事業場の名称及び所在地	参考事項
		定格容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等	台数又は容器の数	総重量 (1台当たり重量×台数)				
27-004	蛍光灯用安定器	100 W	東京芝浦電気(株)	FT-423EM-100HB	S46.1	シバノール	150 台	320.0 kg	H30.09.10			

- 備考
- この届出書は、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管又はポリ塩化ビフェニル使用製品の所有に係る事業場ごとに作成し、毎年度6月30日までに提出すること。
  - 届出者や事業場に関する情報に変更があった場合には、速やかに都道府県知事に連絡すること。
  - 「保管事業場の名称」及び「保管事業場の所在地」の欄には、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管の場所に係る事業場を記入すること。また、「所在事業場の名称」及び「所在事業場の所在地」の欄には、ポリ塩化ビフェニル使用製品の所在の場所に係る事業場を記入すること。
  - 「番号」の欄には、それぞれ先頭に「前年度の元号数ー」を加えた整理番号（平成28年度の保管状況を届け出る場合の例：28ー001）を付すこと。なお、前回までの届出において既に当該事業場における番号が付されているものについては、引き続きその番号を記入すること。
  - 「廃棄物の種類」及び「製品の種類」の欄には、記入要領に沿って、その名称を具体的に記入すること。
  - 「廃棄物の型式等」及び「製品の型式等」の欄には、変圧器（トランス）等の銘板に記載されている「定格容量」、「製造者名」、「型式」、「製造年月」及び「表示記号等」を記入すること。なお、「表示記号等」については、記入要領に沿って、その名称を具体的に記入すること（例：不燃性油）。
  - 「処分予定年月」の欄には、高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物を自ら処分し、又は他人に委託することを予定している年月を記入すること。低濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物については記入しなくて構わない。
  - 「量」の欄のうち、「台数又は容器の数」の欄には、ポリ塩化ビフェニルを使用する電気機器については台数（個数）を、その他のものについては保管している容器の数（缶数等）を、それぞれ単位とともに記入すること。ただし、電気機器であっても、小型のものを容器にまとめて保管している場合であって台数（個数）を把握することができないときは、保管している容器の数（缶数等）を単位とともに記入すること。
  - 「量」の欄のうち、「総重量」の欄には、ポリ塩化ビフェニルを使用する電気機器については、1台当たりの重量に台数（個数）を掛けた重量を記載すること。その他のものについては、容器込みでの重量を記載すること。
  - 「濃度区分」の欄には、「高濃度」、「低濃度」又は「不明」のうち該当するものを記入すること。なお、「高濃度」とは高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物又は高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品の略称、「低濃度」とは高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物以外のポリ塩化ビフェニル廃棄物又は高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品以外のポリ塩化ビフェニル使用製品の略称である。
  - 「保管の状況」として、新たにポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管の状況を届け出る場合や、既に届け出たポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管の状況に変更があった場合には、保管しているポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管状況の分かる写真を本届出に添付すること。
  - 「保管の状況」の欄のうち、「容器の性状」の欄には、ポリ塩化ビフェニル廃棄物を保管している容器の有無、容器がある場合にはその種類を具体的に記入すること（例：「ドラム缶」、「なし」）。
  - 「保管の状況」の欄のうち、「囲い等の有無」の欄には、ポリ塩化ビフェニル廃棄物を保管している場所の周囲の囲いの有無及び保管に係る掲示板の有無を記入すること。
  - 「保管の状況」の欄のうち、「分別・混在の別」の欄には、他の物品と分別して保管しているか混在して保管しているかの別を記入すること。
  - 「保管の状況」の欄のうち、「漏れ等のおそれ」の欄には、保管中のポリ塩化ビフェニル廃棄物が漏れたりこぼれ落ちたりするおそれの有無を記入すること。

記入例のため、第5面は省略しています